

白井市役所庁舎の整備に係る提言内容報告会（H24.6.23 実施）

当日アンケート結果の集計

多数の方にアンケートご協力を頂き、ありがとうございました。

※報告会には 40 名程度の参加があり、うち 24 名の方からアンケートの回答をいただきました。（回収率 60%）

1. アンケート回答者 : 24 名（全員市内在住の男性で年齢は 50 歳代～60 歳代以上）

2. アンケート内容

①報告会の内容について

・有意義である	24 名（100%）
・有意義とは思えない	0 名（ 0%）
・どちらとも言えない	0 名（ 0%）

②時間配分について

・長い	1 名（ 4%）
・短い	1 名（ 4%）
・丁度よい	22 名（ 92%）

③自由意見欄のコメント内容（類似の意見はまとめてあります）

- ・検討委員会の努力とその成果に対して敬意を表する。（多数意見）
- ・今回の検討委員会は、極めて稀な成功例だと思う。委員の中に専門家が 3 人いたこと、市民目線を貫いたことが大きい。
- ・今後の各種検討委員会構成については、手当等の制約はあるのだろうが、ボランティアによる委員構成を考えてはどうか。
- ・専門的な内容にも関わらず丁寧な説明と具体的な事例により、分かりやすい報告会であった。（複数意見）
- ・「高齢化社会に対する市政の取組み」「まちづくり等」に係る検討事項については、このような形式で専門的知識のある人を入れる等、市民参加による委員会を積極的に取り入れ、市民に対する結果説明も委員会自らが行う方式を多に取り入れてほしい。（複数意見）
- ・今回の進め方を千葉県各市のモデルにして欲しいものである。
- ・「減築+新築」案を希望する。
- ・「減築+新築」案の発想は良いと思う。今後は人口増加が見込まれるので、H案が良いのではないかと。
- ・市民目線による説明・検討等は、今後の市政にも反映してほしい。
- ・「長期財政見通し」の中に市庁舎はもとより、小中学校、市民ホール、図書館等の修理・大規模修繕費用も入れて作成してほしい。
- ・「アドバイザーとして現市民委員の方を活用したい」との話が出たが、是非とも正式なアドバイザーとして位置付けて公表してほしい。

- ・市庁舎の整備を今後進めていくにあたり、今回の委員会のように市民参加の検討会を立ち上げてほしい。
- ・大変勉強になった。
- ・評価点の内容の中に「市民への影響等（サービス面での悪影響）」が入っていない。
- ・次のステップとして、決定までのプロセスを執行部から市民に向けての説明をしてほしい。
- ・学識者、実務経験者、庁舎内で働く職員の意見が集約された提案になっている経緯を理解することができた。担当職員のスキルアップにもなったのではないかな。
- ・「白井市役所庁舎と丸の内等建築物」をコスト比較することに疑問を感じた。規模や用途が違うのではないかな。
- ・入札メリットばかりの説明が気になった。世間的には平成 23・24 年度の落札率は上昇し、関東圏では不調の事例も出ており、確実に建設費は上昇している等の説明がなかった。

検討委員会は、入札のメリット・デメリットを正確に説明する必要がある。

- ・東北災害の話が出たが、実際には土木、建築ともに労務は完全に不足しており、スーパーネコンですら工期延期をしてるのが実態。
- ・「文化センターとの一体性」について、美術展示施設がないので、是非解決していただきたい。
- ・議会に出す前に、こういう検討ができるとうい。
- ・庁舎は、市と市民の共同の拠点であることを考え、今後もこのような運営が拡大していくことを期待する。
- ・庁舎問題は、市民が一番関心のある問題であると共に、専門的な知識も必要であるので発言しにくい問題でもある。
- ・参加者からの質問意見でも議論が深められた。
- ・委員会の審議が実のあるもので有った様子が分かった。
- ・大変好感のもてる委員会であった。
- ・ハード面だけでなく、ソフト面にも配慮された検討となっている。今後は、「市民への親しみやすさ（市民の利便性）」、「市民への開放（会議室の無料利用）」が課題になるだろう。
- ・現庁舎が築 32 年で耐震性がないことにビックリした。
- ・減築案も良いが、21 億円ぐらいでできるのであれば、新築も検討してはどうか。
- ・委員会には、今後「市・市議」の動きを市民とともに「専門部会」として見守っていてほしい。
- ・広く市民に説明の機会を作ってほしい。
- ・行政側の柔軟な対応も良かったと思う。（複数意見）
- ・合理的な答申であり、良かったと思う。
- ・行政・議会・市民は対立軸でなく、協働すべきだと思う。